

年度 2007 学期 後期	曜日・校時 金 3	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	総合英語 III Comprehensive English III		
対象年次 2 年次	講義形態 演習	教室	
対象学生(クラス等)	2La	科目分類 外国語科目(英語)	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスパワー 担当教員: 橋本高明 /Eメールアドレス: /研究室: 非常勤講師控室 /オフィスパワー: 金曜日(アポイントメントで指定された時間)			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: この授業では、以下に示す言語技能の習得を目指す。 1) 英語文中の構成素の文法的役割とそれらのあいだの修飾関係を正確に理解する。 2) 英語文構成素の文法的役割や修飾関係を正確に表現するメタ言語訳を作る。 3) メタ言語訳中の構成素の文法的役割や修飾関係を正確に表現する英語文を作る。 授業方法: 各週の授業では、自然科学に関わる平易な記事を読み、音読により発音練習し、記事の英文の構造を正確に理解して日本語を用いたメタ言語訳を作る。履修者は各週の割り当てられた記事、練習問題をかならず予習し、発表準備をして授業に臨むこと。宿題、その他の提出物を遅れて提出することは認めない。授業にはかならず辞書(英和または英英)、教科書、筆記具を持参すること。 授業到達目標: この授業を履修し合格するために履修者が最低限習得しなければならない技能の条件は、上記授業のねらいに示した言語技能(1)-(3)について、担当教員の評価で60%以上適切と評定される水準の言語技能である。 1) 英語文中の構成素の文法的役割とそれらのあいだの修飾関係を正確に理解する。 2) 英語文構成素の文法的役割や修飾関係を正確に表現するメタ言語訳を作る。 3) メタ言語訳中の構成素の文法的役割や修飾関係を正確に表現する英語文を作る。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 第1回 授業の内容・方法の説明、プリテスト 第2回 Lesson 1: Mystery of time 第3回 Lesson 2: Vitamins 第4回 Lesson 3: Plate tectonics 第5回 Lesson 4: Heat and health 第6回 Lesson 5: Learning disabilities 第7回 中間試験 第8回 Lesson 6: Pain 第9回 Lesson 7: Cryobiology 第10回 Lesson 8: Biofeedback 第11回 Lesson 9: Microsurgery 第12回 Lesson 10: Trees 第13回 復習2 第14回 復習3 第15回 定期試験			
キーワード	TOEIC		
教科書・教材・参考書	教科書: Nakahata, Shigeru and Joseph Benson. <u>VOA Science in the News</u> . Tokyo: Nan'un-do, 1993. 参考書: 小野経男『チャート式新英文法』東京:数研出版 1990年 *この他にテキスト・教材がある場合には第1回授業で指示する。		
成績評価の方法・基準等	この授業を履修し単位取得するためには、担当教員の評価基準で、少なくとも60%以上の場合において、上記「授業のねらい」の(1)-(3)の言語技能を運用できると判定されなくてはならない。技能(1), (2)をおもに授業発表で、技能(1), (3)をおもに筆記試験で評価する。成績は2回の試験と授業発表・宿題・提出物による総合評価で決定する。2回の試験の評価を最終評価の80%、授業発表・宿題・提出物の評価を最終評価の20%とする。正当な理由なく5回以上欠席した者は期末試験受験資格を失う。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ /学習・教育目標			
備考(準備学習等)	各週の授業では、テキストの前もって指定された課の内容を演習する。履修者は該当の課を予習し、演習準備をして授業に臨むこと。各週の授業には、テキスト・英和(または英英)辞書・筆記具をかならず持参すること。		